



ケーススタディ：Moveon Technologies SG 社

成功への 確かな道しるべ

ビジネスにおいて、成功を収めることと成功し続けることはまったく別のものです。

Moveon Technologies SG 社は、まさにその両方を実現している企業です。Moveon は 2007 年に設立された、シンガポールに拠点を置く光学ソリューションプロバイダです。Moveon の成功は、お客様が直面する実際の問題に対応できる、革新的で高品質な社内設計の光学ソリューションを提供したことから始まりました。同社が成功し続けられるかどうかは、大量生産の導入に伴う課題に対応し、高い品質を維持し、市場範囲を拡大しながら、動きの早い光学機器市場が求めるイノベーションレベルを継続的に達成できるかどうかにかかっていました。

目標の設定、課題の発生からその解決まで

Moveon は初期の成功後の需要増大に対応するために事業規模を拡大しましたが、その過程でコーティングおよび試験作業の品質維持という課題に直面しました。同社は当初、この作業を外注していました。Moveon の Business Development Manager である Jacob Weng 氏は次のように述べています。「外部サプライヤが生産する成膜レンズの性能は、設計仕様から逸脱することがよくありました。その結果、当然ながらお客様からのクレームを受けることになりました。」このように外部サプライヤ間で一貫した品質を確保できなかったため、Moveon が自社名で販売する最終製品の品質を保証することが困難でした。

同社が直面したもう 1 つの課題は、生産の拡大、より正確に言えば生産試験の規模拡大でした。お客様は、数百～数千個のサンプル間で一貫して厳格なコーティング仕様を満たすことを求めています。このため、透過と反射に関する厳格なバッチ試験が必須であることがわかってきました。Moveon はまた、より複雑なコーティングの特性解析の難しさにも直面していました。この問題は特に、このようなレンズやコーティングが不可欠である防衛などの重要産業で深刻でした。



Jacob Weng 氏

Business Development Manager
Moveon Technologies SG
シンガポール

分光光度計の活用

Moveon は、自社に成功をもたらした革新的なソリューションを継続的に生み出すため、アジレントの高度な分光光度技術に投資し、自社で革新的なソリューションを開発することにしました。Cary 7000 Universal Measurement Spectrophotometer (UMS) を導入したことは、Weng 氏の言葉を借りればまさに「ゲームチェンジャー」となりました。UMS の導入による大きな影響の 1 つは、品質管理の大幅な改善です。

Weng 氏は次のように述べています。「当社は常に品質基準の維持を優先しており、Cary 7000 UMS はその達成に非常に役立っています。Cary 7000 UMS を活用することで、外注していたときよりも詳細なレンズの特性解析を自社内で実施できるようになりました。これにより、すべての光学部品を必要な仕様に適合した状態で出荷することができます。」社内で行うコーティングプロセスと分光光度データの組み合わせにより、堅牢な品質保証を実現することができます。これは、高品質な製品の提供に取り組む Moveon の姿勢を示すものです。レンズの特性解析試験の範囲は、コーティングバッチあたり 3 サンプルから 10 サンプルに増えており、スループットへの大きな影響は出ていません。

効率性の向上と統合の改良

当然のことながら、成功すれば需要が増え、需要が増えれば供給が促進されます。Moveon ではロボットオートサンブラを Cary 7000 UMS に組み込みました。これにより、最小限の手作業で頻繁に試験を実施できるようになりました。この高度な自動化により夜間や週末に試験を実施できるようになり、生産性が約 4 倍*に向上して納期が大幅に短縮されました。その結果、試験結果の品質を維持したまま、供給量を増やせるようになりました。

高度な試験性能を社内を持つことにより、Moveon の垂直統合も強化され、業務がシームレス化されました。「この統合型アプローチにより、生産品質とスケジュールを常に完全に管理できます。外部サプライヤへの依存を最小限にすることで、当社のワンストップソリューションの供給能力は大幅に向上しています。」と Weng 氏は述べています。

* 試験時間を標準的な週 40 時間から無休 (週 168 時間) に延長した場合の数値に基づいて算出しています。

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンター

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っていません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE.005341

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2025
Printed in Japan, March 9, 2025
5994-8145JAJP

イノベーションの促進

Moveon は拡張現実 (AR)、仮想現実 (VR)、医療機器分野におけるスタートアップ企業と新技術の支援に取り組んでいます。これはイノベーションの醸成に対する同社のアプローチを示すものであり、Cary 7000 分光光度計の高度な機能はこの分野で重要な役割を果たしています。Weng 氏は次のように述べています。「当社は高度な分光光度計に投資することで、最先端の光学ソリューションの開発を加速させています。このため、特に新興分野では、新しい光学部品の詳細な分析と特性解析が可能になっています。精密なデータとフィードバックを提供できるため、革新的な製品とソリューションの開発が加速しています。」

将来的なニーズへの対応

お客様からのフィードバックは成功の重要な指標です。Moveon は特に光学部品の品質と一貫性について、非常に高い評価を受けています。Moveon は現在、防衛・軍事分野のクライアント向けの IR コーティングした光学機器やその他の対象製品の生産能力向上のために、分光光度計へのさらなる投資を検討しています。この動きは、新しい市場の需要を多角化してこれに対応しながら、優れた光学ソリューションのベンチマーク設定に必要な品質、効率性、イノベーションを維持することに継続的に取り組むという、同社の戦略に沿ったものです。